

大分大学 教育サロン型FD・SD 教員×職員×学生 「自発的に学生が動き出す仕掛けとは？」 ～社会人基礎力を養成するために～



◆開催日時◆

6月4日(土)13:00～18:00

◆会場◆

情報交換会 18時30分～

ホルトホール大分 (JR大分駅前)
サテライトキャンパス おおいた



◆研修の概要◆

この研修会では、大学への普及が進みつつあるアクティブラーニングについて実際に学び、先生方の授業をアクティブラーニング化するためのノウハウを提供することを目的としています。テーマは、大分大学が取り組む「地(知)の拠点による地方創生」事業に関連して、地域で学ぶ学生の成長について取り上げました。

具体的には、アクティブラーニング授業の一例として、学習集団の作り方と運営の方法(実習1・2)、学生が自発的に地域で活動し成長している大学の事例紹介(話題提供)を踏まえたグループディスカッション(実習3)と教室全体での情報共有(実習4)までの、一連の授業スタイルを実習します。

授業に対する日頃の思いを、教職員や学生を交えた多様な観点から話し合うことで、今後の展望につなぐ機会となれば幸いです。皆様の参加を心よりお待ちしております。

◆プログラム◆

13:00	開会行事
13:10	<第1部> 実習1.「あなたの学習スタイル(グループづくり)」 学習時の行動特性や性格分析等に基づいて多様性に富む学習集団をつくります。 実習2.「記者会見(アイスブレイク;コミュニケーションをとりやすい雰囲気づくり)」 効率的な自己紹介と質疑応答により、活発な学習集団の素地をつくります。
14:40	<第2部> 話題提供 北九州市立大学地域共生教育センターの事例 北九州市立大学地域共生教育センター(通称:421Lab.)は、地域社会における実践活動を通じ次世代を担う人材の育成を目指すとともに、地域貢献活動の一翼を担うことを目的に、2010年4月に設置されたセンターです。この組織は、地域の課題と大学の教育をつないでいくことを目的に、活動フィールドを地域とし、学生がそこにある課題に取り組むことで、地域と大学がともに成長していく社会づくりを進めていく役割を果たしています。「地域につながる、自分をひろげる」。センターの具体的な取り組みや『自分をひろげる』学生たちの成長をテーマに話題提供をさせていただきます。聴いていただく皆さまと共に学び合う時間となれば嬉しく思います。(話題提供者;村江氏より)
16:00	<第3部> 実習3.「グループでのディスカッション」 話題提供を手がかりとして、学生が地域で学ぶことの意義、能動的に学習するための仕掛け、地域との協働、大学の取り組み等を話し合います。 実習4.「全体共有」各グループの成果を全体で共有します。
17:45	閉会行事 (18:00終了予定)

◆講師◆ 第1部、第3部 本田 貴継 氏((株)ラーニングバリュー)
第2部 村江 史年 氏(北九州市立大学:大分大学OB)

◆参加費◆ 無料 (情報交換会のみ 会費:4,000円 学生は2,000円)

【お申し込み・お問い合わせ】

氏名、所属、情報交換会への参加の有無をお知らせください。
件名は「6月4日大分大学FD申し込み」で、お願いします。

大分大学高等教育開発センター

Email: hecenter@oita-u.ac.jp

Tel: 097(554)7644 FD担当 牧野

8522 教育支援課 加藤